3月定例会 委員会の審査報告

３月定例会中の総務常任委員会、市民環境常任委員会、建設水道常任委員会、文教福祉常任委員会が審査した内容について、その一部をお知らせします。

市民環境

地球温暖化対策地域推進計画の答申が示される

＜平成24年までに$CO_2$12万1872トン削減へ＞

【審査項目】
●宇治市地球温暖化対策地域推進計画の答申について

市から次のとおり説明が行われた。

同計画の答申は昨年5月、市が宇治市環境保全審議会に諮問をしたことを受けたもので、内容は次のとおり。

温室効果ガスである二酸化炭素は、平成2年（基準年）と比べて平成17年度の総排出量は2.1％増加し目標の平成24年には3.0％の増加が見込まれる。計画では今後、平成24年までの5年間で基準年比10％削減を目指す。市全体での二酸化炭素の削減目標は12万1872トンとなっており、産業、運輸、民生、行政等、部門別の対策、年度ごとの行動計画を示している。今後は、市民、事業者、市が協働して取り組みを進める必要があり、宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議（仮称）を新たに組織し計画を推進していきたい。

これに対し、委員から、今後5年間での削減目標の達成見込み、太陽光発電等の省エネ機器の導入に対する補助の強化、学校エコ活動への市の関与、市のノーマイカーデー促進、パートナーシップ会議の役割、府との連携等について質疑が行われた。

総務

総合型ハザードマップ、防災地図を発行

＜ホームページでも公開予定＞

【審査項目】
●報告　総合型ハザードマップの作成について

市から次のとおり説明が行われた。

本市では近年、大きな災害は発生していないが、地震等の災害がいつ起きてもおかしくない。自らの命は自ら守る、自分たちのまちは自分たちで守るという自助・共助の取り組みが大切であり、災害から身を守るために普段から家庭や地域での備えが必要である。府の地震被害想定等の調査結果に基づき、地域や家庭で防災の取り組みの参考とするため、総合型ハザードマップ、防災地図を発行することとした。備えの第一歩は、まず地震の状況や危険箇所等を知ることである。このマップには総合的な状況を掲載し、身近な家庭での防災対策等、減災に向けた積極的な取り組みに活用をお願いするものである。このマップはホームページでも公開を予定しており、大字ごとの震度や被害の想定等、この冊子に収容できなかったデータも掲載する予定である。

これに対し委員から、町内への助成、避難路の問題、情報提供の仕方、木津川の堤防が破堤した場合の影響を住民へ周知徹底を図るべき、東南海地震の被害想定に即したものも必要等の質疑が行われた。

建設水道

まちづくりに関する条例を制定

＜市民参加、景観形成、開発事業調整等を規定＞

【審査項目】
●議案第21号　宇治市良好な居住環境の整備及び景観の形成を図るためのまちづくりに関する条例を制定するについて

市から次のとおり説明が行われた。

この議案は、市民参加により地域の特性や市民ニーズに対応したきめ細やかな住みよいまちづくりを推進し、すぐれた景観を守り育て、また無秩序な開発を防止し良好な居住環境の形成を図るため、条例を制定するものである。各章に総則、まちづくりへの市民参加、景観の形成、開発事業の調整、雑則、罰則を定める。施行期日は、条例全体は本年4月1日だが、景観形成部分は7月1日、開発事業部分は来年4月1日とする。

これに対し委員から、すべての地域に地区まちづくり協議会を作るのか、開発寄付金の額は規則で定めるのか、本来条例で規定すべきものを規則に委任しすぎで中身が把握できない、地区まちづくり計画認定要件の3分の2以上の同意とは面積か人数か、その他各条文の細部にわたって質疑が行われた。

その後、日本共産党宇治市会議員団委員退席のもと採決が行われ、全会一致で本議案は可決すべきものと決した。

文教福祉

特定健康診査等実施計画案が示される

＜特定健康審査、特定健康指導の実施に向けて＞

【審査項目】
●報告　宇治市特定健康診査等実施計画案について

市から次のとおり説明が行われた。

平成20年4月から施行される高齢者の医療の確保に関する法律では、国が特定健康診査等の基本指針を定める。国の基本指針に基づいて、各医療保険者が、特定健診等の実施方法や具体的な目標数値等の計画を定めることになっている。高齢者医療費の増大等を踏まえて、生活習慣病予防に重点を置いた保健指導を徹底するため、各医療保険者に対し、40歳から74歳までの被保険者を対象とする特定健康診査、特定保健指導の実施が義務づけられた。

この計画は、宇治市国民健康保険が国保加入者の方を対象として実施する特定健診等の実施に当たっての事業内容、目標数値をまとめたものであり、その内容等についての報告があった。

これに対し、委員から、特定健診の指定医療機関、事業の外部委託、後期高齢者の医療制度、眼底検査の項目、基本健診の料金、国からの交付金、保健指導の方法と体制、制度の広報、目標実施率の数値根拠、後期高齢者の保健事業等の質疑が行われた。

行政視察の報告

総務常任委員会・文教福祉常任委員会・議会運営委員会・議会だより編集委員会の実施した先進地への行政視察について報告します。

総務常任委員会

●日程
1月22日から24日
●視察人員
委員8名、執行部2名、議会事務局2名　計12名
●視察先・視察項目
【佐賀県広域消防局】
○広域消防の取り組み
【福岡県宗像市】
○市民参画条例（パブリックコメント等）他
【福岡県太宰府市】
○歴史と文化の環境税　他

▲宗像市の視察風景

文教福祉常任委員会

●日程
1月22日から24日
●視察人員
委員8名、執行部2名、議会事務局2名　計12名
●視察先・視察項目
【東京都世田谷区】
○コミュニティ・ホーム「楽」
【東京都品川区】
○教育改革「プラン21」
【東京都稲城市】
○介護支援ボランティア制度　他

▲品川区 日野学園の視察風景

議会運営委員会

●日程
2月7日から8日
●視察人員
正副議長、委員10名、執行部1名、議会事務局1名　計14名
●視察先・視察項目
【千葉県船橋市】
①議会改革の取り組み
【東京都小金井市】
②議会改革の取り組み

▲船橋市議会の視察風景

議会だより編集委員会

●日程
1月30日から31日
●視察人員
正副議長、委員6名、議会事務局2名　計10名
●視察先・視察項目
【岡山県瀬戸内市】
①議会広報紙の編集・発行
【岡山県倉敷市】
②議会広報紙の編集・発行

▲瀬戸内市議会議員との意見交換風景